

株主の皆様へ

第55期 中間事業報告書

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)



東洋合成工業株式会社

Toyo Gosei Co., Ltd

# 決算ハイライト

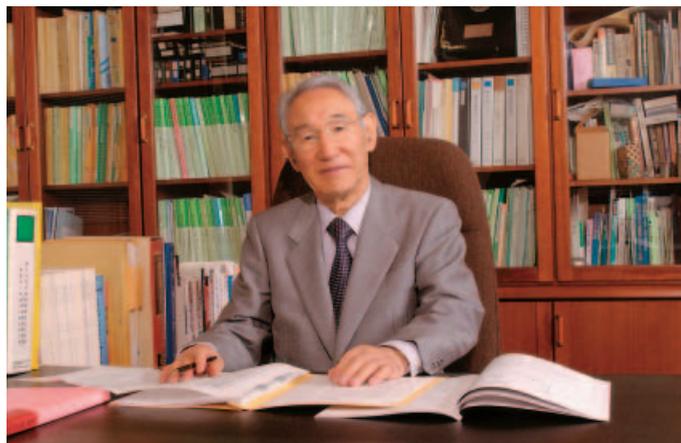
経営成績				当中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	前中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)
売上高	(百万円)			6,038	4,606
営業利益	(百万円)			1,121	434
経常利益	(百万円)			948	265
中間純利益	(百万円)			608	94
1株当たり中間純利益	(円)			87.43	13.49
1株当たり中間配当金	(円)			7.50	5.00

財政状態				当中間期 (平成16年9月30日現在)	前中間期 (平成15年9月30日現在)
株主資本	(百万円)			5,677	4,967
総資産	(百万円)			20,888	19,899

本報告書において百万円単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。





株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの新潟県中越地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げ、一日も早く復興されますよう心からお祈り申し上げます。

さて、当社の第55期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

わが国経済の状況は、原油高の行方や米中経済減速が意識され続ける中、オリンピック効果もあってDVDや薄型テレビなどが好調に推移し、堅調な輸出、設備投資を背景に拡大局面にあります。電子材料は地上デジタルテレビの視聴可能地域拡大でデジタルテレビに有利になるほか、デジタル家電の需要は年末に向け旺盛であり、設備投資の増勢が維持されることによって引き続き景気は回復の動きを続け、前向きな循環も明確化していくものとみられます。化学産業はメガコンペティションの激化によって、大きな転換点に立っております。

このような環境の中、9月に創業50周年を迎え、当期は当社にとって第二の創業というべき新たな年度であります。この新しい年度の上半期決算において、当社は増収増益という成果をあげることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心から感謝いたします。

今後とも経営資源の最適な配分と財務体質の健全性維持に努め、株主価値の最大化を期してまいります。また、引き続きコーポレート・ガバナンス体制の強化に努めるとともに、全社的にコンプライアンス体制を整備し、企業倫理の徹底を図る一方、環境保全にも配慮しつつ事業を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年11月

代表取締役社長 **木村 正輝**

## ■ ArF設備完成で製造量15トン／年の生産体制確立 ■

感光性材料事業では、2002年11月にArFポリマー製造設備（A-1設備）を完成し、お客様から予想を上回るご注文



装置能力及び処理量は下記の通りです。

到達真空度：1Pa（0.008Torr）以下

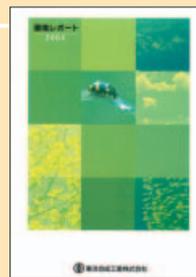
最高加熱温度：160℃

処理能力：50L/Hr

文をいただいております。その後、更に、デジタル家電や携帯電話向け半導体の需要拡大を受けて2004年5月に、A-1設備の5倍の能力を有する2系列目のArFポリマー製造設備（A-2設備）が完成しました。この設備の完成で、年産15トンのArFポリマーの量産体制が確立しました。このA-2設備は、A-1設備で認定を受けている製品のスケールアップが容易にできるように設計されております。これにより需要の急拡大が見込まれる製品の供給にも十分に應えることが可能になりました。今後、この2系列の設備の特徴を活かして試作生産に続き、量産体制を築いてまいります。一方、当社では、ArFモノマーからArFポリマーまでの一貫生産にも取り組んでおり、2004年6月には、設置後改善を重ねてきた薄膜蒸留器が稼働を開始し、12月には、3系列目のArFポリマー製造設備（A-3設備）の完成を目指しており、各種のArFモノマーの受注合成が自由に行われるようになります。

## ■ 環境レポート2004の作成・公表 ■

当社の社会的責任を果たす第一歩として環境問題への取り組みを中心に「東洋合成工業環境レポート2004」を本年6月に作成・公表いたしました。今後も積極的に推進するとともに、本レポートの充実を図ってまいります。なお、本レポートは当社ホームページでご覧いただけます。



## ■ おかげさまで創業50周年を迎えました ■

本年9月27日に創業50周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心から感謝いたします。「次なる50年」にご期待ください。



# 各事業部門のご紹介

## 感光性材料事業

Photosensitive Materials Business

感光材で最新テクノロジーをサポート



千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

感光材は、半導体集積回路の製造に加え、液晶ディスプレイ、CCDカメラ等の微細電子デバイステクノロジーを利用した製品の量産には欠かせない存在です。最先端のテクノロジーを支える感光材には、つねにより高い性能が要求されます。当社は、10年、20年先を見据えた研究・開発に取り組んできました。更に、高純度かつ安定品質の製品を量産することにより、高い評価をいただいております。また、電子部品の内部液用途として、イオン性液体および電解液の高純度合成のサンプルワークを開始しました。感光材で培った合成方法、精製方法および分析方法を水平展開することにより、安定した品質の製品を供給できる体制を構築いたします。

## 化成品事業

Fine Chemicals Business

多岐にわたる中間体の供給



市川工場（千葉県市川市上妙典）

当社の化成品事業は、アルコール、アルデヒド、ケトン、エーテル、脂肪酸、エステル等、一連のカーボニル化合物を原料として、世界の大手香料メーカーに香料材料を供給しています。また、多岐にわたる業界に有機溶剤を供給する一方で、そのリサイクルを進め、環境の保全に貢献しています。

## ロジスティック事業

Logistics Business

高付加価値サービスを提供



高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

当社の高浜油槽所は、3基の棧橋を有し、月間200隻に対応するとともに、首都圏の高速道路網に容易にアクセスできます。4万3,000㎡の敷地内には、化学品保税タンク61基が設置されているほか、危険物立体自動倉庫などの最新設備により、効率的なサービスを提供します。

本 社（千葉県市川市上妙典）



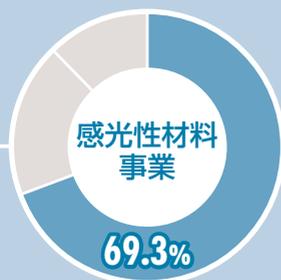
東京営業所（東京都中央区八丁堀）



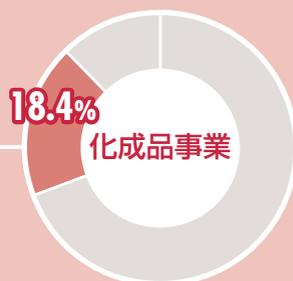
感光材研究所（千葉県印旛郡印旛村）



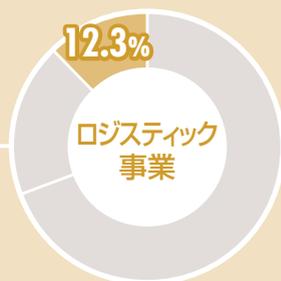
## 事業別の概況



デジタル関連機器の好調さを受け、前事業年度の後半から需要が回復し、当中間期に入り更に拡大基調となり、当事業の売上高は、4,186,080千円（前年同期比+1,261,071千円、+43.1%）となり、営業利益は741,347千円（前年同期比+591,980千円、+396.3%）となりました。用途別売上高では、半導体全体で1,625,913千円（前年同期比+670,939千円、+70.3%）、LCD用は1,620,853千円（前年同期比+355,222千円、+28.1%）となりました。



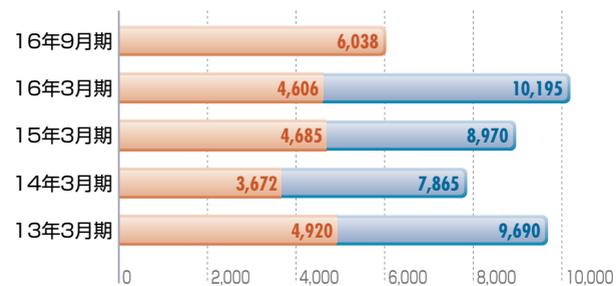
当事業の関連業界の汎用化学品業界は、国際的な価格競争の波を受け厳しい状況が続いておりますが、当社は引き続き香料材料の新製品の開発と市場開拓を精力的に進めると同時に、永年培った高度な合成・精製分離技術と、少量多品種生産能力を活かした積極的な営業を展開いたしました。この結果、当事業の売上高は、1,112,079千円（前年同期比+125,806千円、+12.8%）となり、営業利益は143,263千円（前年同期比+57,681千円、+67.4%）となりました。用途別売上高では、香料材料は402,767千円（前年同期比+106,462千円、+35.9%）、機能性材料は201,465千円（前年同期比+47,293千円、+30.7%）となりました。



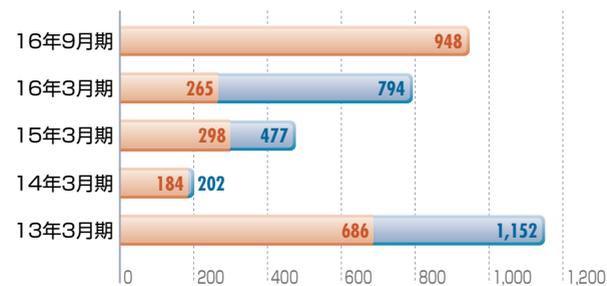
物流コスト削減等厳しい事業環境の中、前期に実施したドラム充填所およびドラム缶・コンテナ保管用立体自動倉庫の施設増強が奏功、当事業の売上高は740,398千円（前年同期比+44,822千円、+6.4%）となり、営業利益は236,789千円（前年同期比+37,262千円、+18.7%）となりました。

# 業績等の推移

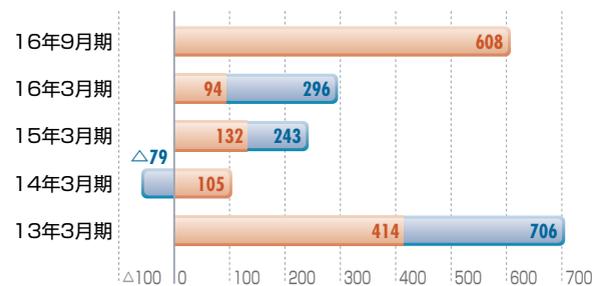
■ 売上高 (百万円)



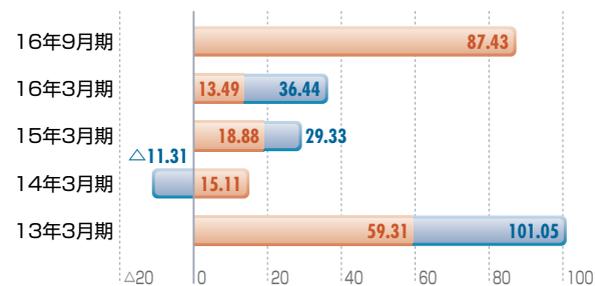
■ 経常利益 (百万円)



■ 中間(当期)純損益 (百万円)



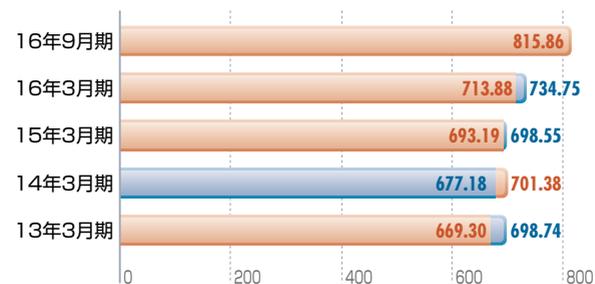
■ 1株当たり中間(当期)純損益 (円)



■ 1株当たり配当金 (円)



■ 1株当たり株主資本 (円)



中間期

通期

# 財務諸表

## ■ 中間貸借対照表

(千円未満切捨表示)

期 別	当中間期	前中間期	前 期
科 目	(平成16年9月30日現在)	(平成15年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	7,219,486	6,858,219	7,380,838
現金・預金	1,178,348	1,656,005	1,732,985
受取手形	146,660	120,425	191,259
売掛金	2,604,055	1,795,236	2,207,603
製成品	2,412,436	2,470,582	2,387,717
原材料	506,689	473,542	447,578
仕掛品	71,951	135,143	191,137
貯蔵品	35,353	29,856	23,051
前払費用	62,263	71,473	42,322
未収金	52,419	22,785	22,809
繰延税金資産	152,061	84,900	136,454
その他の流動資産	341	496	588
貸倒引当金(流動)	△ 3,094	△ 2,229	△ 2,670
固定資産	13,668,761	13,041,556	12,713,713
有形固定資産	12,736,884	11,830,583	11,766,572
建物	2,792,824	3,015,058	2,888,753
構築物	1,447,742	1,487,364	1,516,305
機械装置	2,936,234	2,989,694	3,052,648
船舶	252	252	252
車両運搬具	11,139	10,038	9,605
工具器具及び備品	251,886	239,453	232,830
土地	3,915,030	3,887,905	3,770,306
建設仮勘定	1,381,773	200,817	295,868
無形固定資産	184,027	212,447	203,622
借地権	100,000	100,000	100,000
ソフトウェア	77,360	105,657	96,908
その他の無形固定資産	6,667	6,790	6,713
投資その他の資産	747,849	998,524	743,519
投資有価証券	333,499	314,115	348,595
会社株式	48,800	372,195	48,800
出資金	600	600	600
長期繰延税金資産	145,904	87,477	132,773
その他の投資	240,106	247,642	234,913
貸倒引当金(固定)	△ 21,061	△ 23,506	△ 22,162
<b>資産合計</b>	<b>20,888,248</b>	<b>19,899,776</b>	<b>20,094,552</b>

期 別	当中間期	前中間期	前 期
科 目	(平成16年9月30日現在)	(平成15年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	8,694,478	8,033,974	7,994,867
支払手形	937,293	689,045	809,968
買掛金	600,292	461,717	610,671
短期借入金	2,200,000	3,440,000	2,500,000
一年内返済予定長期借入金	2,780,885	2,569,340	2,696,705
未払金	493,304	259,029	467,134
未払費用	95,953	84,164	95,393
未払法人税等	405,262	169,095	222,924
預り金	8,907	9,163	8,497
賞与引当金	261,959	183,342	249,691
設備等支払手形	910,586	166,890	332,350
その他流動負債	33	2,186	1,529
固定負債	6,516,214	6,897,947	6,943,572
長期借入金	5,689,195	6,217,080	6,127,795
退職給付引当金	734,735	581,625	712,998
役員退職慰労引当金	92,283	99,241	102,779
<b>負債合計</b>	<b>15,210,692</b>	<b>14,931,922</b>	<b>14,938,439</b>
<b>(資本の部)</b>			
資本金	800,088	800,088	800,088
資本剰余金	695,397	695,397	695,397
資本準備金	695,397	695,397	695,397
利益剰余金	4,146,304	3,447,724	3,615,657
利益準備金	110,769	110,769	110,769
任意積立金	3,319,841	3,169,841	3,169,841
固定資産圧縮記帳積立金	219,841	219,841	219,841
別途積立金	3,100,000	2,950,000	2,950,000
中間(当期)未処分利益	715,693	167,113	335,047
株式等評価差額金	47,459	36,337	56,662
自己株式	△ 11,694	△ 11,694	△ 11,694
<b>資本合計</b>	<b>5,677,555</b>	<b>4,967,853</b>	<b>5,156,112</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>20,888,248</b>	<b>19,899,776</b>	<b>20,094,552</b>

## ■ 中間損益計算書

(千円未満切捨表示)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		(自 平成16年4月 1 日 至 平成16年9月30日)	(自 平成15年4月 1 日 至 平成15年9月30日)	(自 平成15年4月 1 日 至 平成16年3月31日)
営 業 収 益		6,038,557	4,606,856	10,195,671
売 上 高		6,038,557	4,606,856	10,195,671
営 業 費 用		4,917,157	4,172,380	9,047,554
売 上 原 価		4,100,443	3,363,399	7,427,942
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		816,713	808,980	1,619,611
営 業 利 益		1,121,400	434,475	1,148,116
営 業 外 収 益		38,302	19,814	50,589
受 取 利 息		86	277	474
受 取 配 当 金		5,251	7,548	9,018
そ の 他 の 営 業 外 収 益		32,964	11,988	41,096
営 業 外 費 用		211,406	188,683	403,776
支 払 利 息		117,444	119,540	240,437
そ の 他 の 営 業 外 費 用		93,962	69,142	163,339
経 常 利 益		948,296	265,606	794,929
特 別 利 益		28,664	9,351	10,684
固 定 資 産 売 却 益		493	20	20
貸 倒 引 当 金 戻 入 益		1,665	—	1,332
賞 与 引 当 金 戻 入 益		26,505	9,331	9,331
特 別 損 失		10,609	5,515	234,611
固 定 資 産 売 却 損		1,256	1,815	31,241
固 定 資 産 除 却 損		8,792	3,700	7,760
投 資 有 価 証 券 評 価 損		560	—	—
子 会 社 株 式 売 却 損		—	—	195,610
税 引 前 当 期 純 利 益		966,351	269,442	571,002
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		380,400	86,000	295,000
過 年 度 法 人 税 等 修 正 額		—	69,411	69,892
法 人 税 等 調 整 額		△ 22,489	19,999	△ 90,649
中 期 ( 当 期 ) 純 利 益		608,441	94,031	296,759
前 期 繰 越 利 益		107,252	73,082	73,082
中 間 配 当 額		—	—	34,794
中 期 ( 当 期 ) 未 処 分 利 益		715,693	167,113	335,047

# 会社の概要 (平成16年9月30日現在)

- 商号 東洋合成工業株式会社
- 設立 昭和29年9月27日
- 資本金 800,088,703円
- 従業員数 295名
- 事業内容 有機工業薬品・有機溶剤等の製造ならびに販売  
画像形成用の感光性材料等の製造ならびに販売  
電子表示機器の材料等の開発、製造ならびに販売  
倉庫業（液体化学品の保管管理）  
貨物運送取扱業

- 事業所 東京営業所  
東京都中央区八丁堀4丁目13番1号  
高浜油槽所  
千葉県市川市高浜町7番地  
感光材研究所  
千葉県印旛郡印旛村若萩4丁目2番1  
市川工場  
千葉県市川市上妙典1603番地  
千葉工場  
千葉県香取郡東庄町宮野台1番51  
ヨーロッパ事務所  
Teleport Towers Kingsfordweg 151  
1043 GR Amsterdam The Netherlands

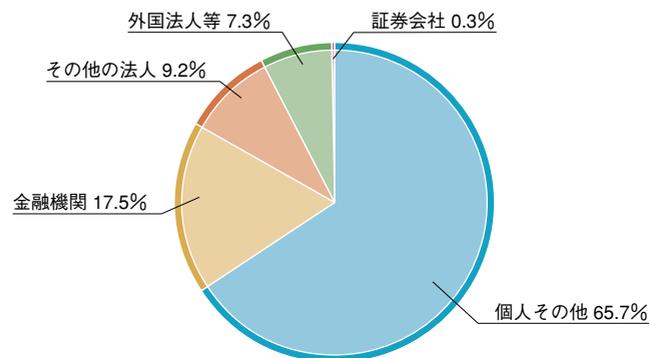
- 関係会社 TG Finetech Inc.

- 役員
- 代表取締役社長 木村正輝
- 専務取締役 春田雅彦
- 取締役 菊池薫
- 取締役 木村正子
- 取締役 菊地英夫
- 取締役 越後谷桂之介
- 監査役 伊藤衛
- 監査役 岡野早苗
- 監査役 青木久昂
- 監査役 柴田武弘

# 株式の状況 (平成16年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	20,000,000株
■ 発行済株式総数	6,993,390株
■ 株主数	645名

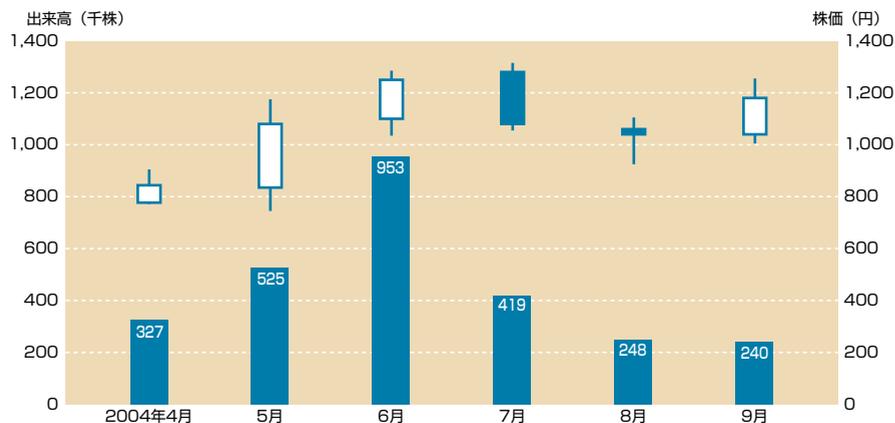
## 株式の分布状況



## 大株主

株主名	持株数	議決権比率
木村正輝	1,760,470株	25.2%
木村有仁	313,000	4.5
木村愛理	313,000	4.5
株式会社千葉銀行	298,100	4.3
株式会社東京都民銀行	298,000	4.3
片岡文子	240,000	3.4
木村源四郎	210,000	3.0
学校法人早稲田大学	200,000	2.9
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	190,000	2.7
東洋合成工業社員持株会	172,220	2.5

## 株価・出来高の推移



## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
1単元の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告については、当社ホームページ ( <a href="http://www.toyogosei.co.jp/">http://www.toyogosei.co.jp/</a> ) に掲載しております。
株式名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先及び連絡先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5213-5213 (代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取請求	単元未満株式の買取りは上記の名義書換代理人の事務取扱場所及び取次所でお取扱いいたしております。

 東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地

TEL047-327-8080 FAX047-327-8085

<http://www.toyogosei.co.jp/>

